



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace

〈本日のプログラム〉

第 414 回 平成 8 年 6 月 14 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
- 「 それこそロータリー 」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会 員 卓 話 柳田光寛君
8. 点 鐘

会 長 藤 堂 孝 一
副会長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会 議 委 員 長 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015

事務局 宮崎郡佐土原町大字下田島20614-9
佐土原町建築業協会内
☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170

第413回例会記録

(1996. 6. 7)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今日は、本日は第413回例会です。標語板『自覚』の佐土原町への贈呈式を行うため、同板の設置場所である久峰総合公園に例会場を移しました。

ただ今から社会奉仕委員会伊東忠寛委員長の司会により、目録贈呈式を挙行させていただきます。

標語板『自覚』目録贈呈式

出席者 佐土原町長 上田長資氏
町都市計画課長 重永英治氏
報道機関 宮崎日日新聞社
佐土原利典氏
制作者 (有) ツーエス・エム
社員 2名
佐土原RC 会員 25名

藤堂会長挨拶

本日、佐土原ロータリークラブが、佐土原久峰総合公園の一角に、標語板『自覚』を贈呈するに当たりまして、上田町長はじめ多数の関係者の方々には、ご多忙の折りにもかかわらず、また、お足元の悪い中をご臨席いただきまして、誠に有り難うございました。

当クラブも来年で創立10周年を迎えることとなります。この度の標語板の寄贈は、ロータリークラブの4大奉仕委員会の一つである社会奉仕委員会の奉仕活動によるものであります。

この『自覚』と題する詩は、元兵庫県立柏原高等学校教諭小藪實英氏の詩集の中の一つであります。小藪氏は現在京都府福知山市に在る観音寺の住職で、小野ロータリークラブ会員でもあります。

昨年11月に小野ロータリークラブ会長芝本博文詩より、詩『自覚』のポスターが送付され、クラブ活動に活用していただきたいとの依頼がありました。

当クラブとしましても、道路愛護デーに過去2回参加して、道路に捨てられている空き缶やゴミの多いことを痛切に感じていましたので、ポスター『自覚』を50枚(B4判)作成して会員に配布し、各自の事業所等に掲示していただきました。同時に、『自覚』の標語板を通して、[ゴミを捨てる側から、ゴミを拾う側に]を町民の皆様に訴え、美しい町づくりの実現に奉仕するため、伊東社会奉仕委員長が精力的に町当局と協議を進め、本日の標語板『自覚』の寄贈の運びとなったのでございます。

佐土原町民をはじめ多数の町外の人も集まりますこの久峰総合公園に、『自覚』の標語板を設置施工していただきましたことは、極めて有意義なことであると考えます。

佐土原ロータリークラブ会員一同は、これを機に、今後一層地域に密着した奉仕活動を展開する所存でありますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

目録贈呈

藤堂会長より上田町長に、標語板『自覚』の目録が盛大な拍手のうちに贈呈されました。(木製 H1.5 m W1.14m)

上田町長からお礼のご挨拶

佐土原ロータリークラブは創立以来、本町発展のために心のこもった奉仕活動が続けていただき、深く感謝しているところでございます。

本日はさらに、『自覚』と題する標語板のご寄贈を賜り、町民の環境保全に対する意識の高揚に大きく寄与していただくことになりました。

重ねて厚くお礼申し上げます。

私達も『自覚』を持って、佐土原町の環境美化を積極的に推進しなければならぬと考えます。

貴クラブのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心から祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

環境美化の「自覚」を

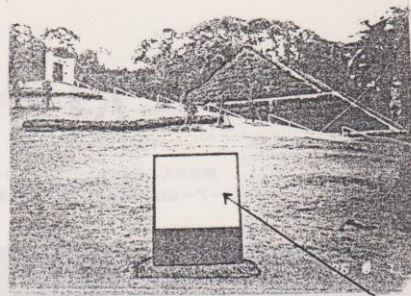
佐土原RC 久峰公園に標語板



標語板の前で上田長資町長（左から2人目）に目録を贈る藤堂孝一佐土原ロータリークラブ会長（同3人目）

1996年(平成8年)6月9日 日曜日

宮崎日日新聞



標語板『自覚』設置箇所（久峰総合公園）
松田清隆会員ご提供

自覚

自分ひとりのくらしと思って
ゴミを捨てる

地上に一億あまりの
ゴミが落ちる

自分だけでもと思つて
ゴミを拾う

地上から一億あまりの
ゴミが消える

(自) 藤堂孝一 小坂正史の提供
佐土原ロータリークラブ

☆幹事報告

福井輝文君

本日は報告、連絡事項はありません。

☆出席報告

委員長 恒吉正志君

会 員 数	31名
H C 出席者数	25名
欠 席 者 数	6名
出 席 率	80.6%
メークアップ者数	3名
修正出席率	90.3%
欠 席 者 名	垂水・井下・藤田

☆会員卓話

郡司 武俊 君

フリーアーム

口腔外に漏れる有害な浮遊粉塵をキャッチする
クリーン診療のためのバキューム・ユニット。

患者さん、先生方、アシスタントの皆様のご健康のために、
フリーアームは汚染源となっている治療時の切削粉塵を除去します。

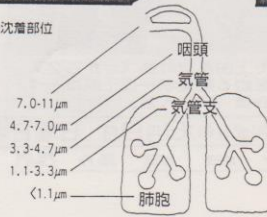


中に発生する粉塵を、
で確実に減らします。

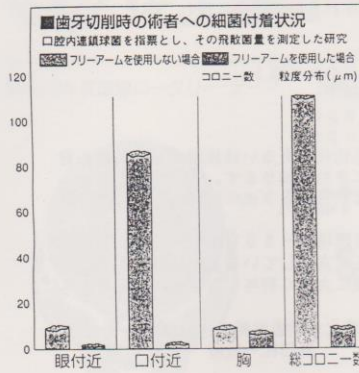
ご存知ですか。粉塵は知らないうちに体内に入り込みます。

治療中の切削粉塵は、目に見えないほど微細なものであるだけに、知らず知らずのうちに、肺に取り込まれています。これらの粉塵は、その大きさによって付着する部位が異なりますが、次第に肺に沈着し、人体に悪い影響を及ぼします。健康的でクリーンな診療環境を保つためにも、フリーアームのご使用をお薦めいたします。

■粉塵の沈着部位

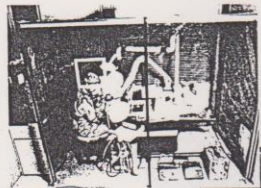
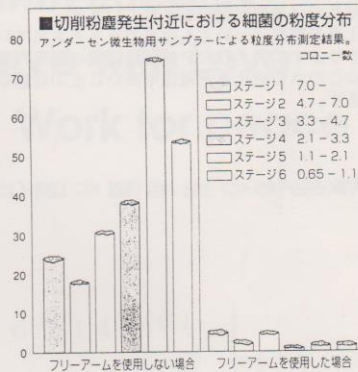


感染性エアロゾルからドクターやスタッフをお守りします。



切削時に飛散するエアロゾルには、目に見えない小さな粒子が含まれています。
 歯牙切削時の患者さんの口元で菌を捕集し、その粒子の大きさを調べたところ、粒子径1.1~2.1μmが最も多く、フリーアームを使用することによって、その94%が除去されました。

左記のグラフは、歯牙切削時に空气中に飛散する口腔内常在菌を診療室内環境汚染の指標として用い、診療環境がどのように汚染されるかを、細菌学的に研究したデータです。歯科大学の研究チームによって行われたこの実験において、ドクターやスタッフはエアロゾルによって汚染されている可能性が高いことが確認されました。さらにフリーアームを切削時に使用することによって、ドクターの顔面への汚染は目に見えない細菌を含めて、ほとんど除去されることが明らかにされました。



● 静電クリーンブースによって、外部と遮断された空間で行われる実験。

この研究は、第53回日本公衆衛生学会総会において「歯科診療時における感染性環境汚染に関する研究第2報」として、以下の方々によって発表されました。



● アンダーセンサンプラーによるエアロゾルの捕集。

- 須山 祐之 東京歯科大学
- 尾崎 哲則 日本大学歯学部
- 高久 悟 埼玉県立衛生短期大学
- 福沢 洋一 日本大学歯学部
- 望月 廣 日本大学歯学部
- 石井 俊文 東京歯科大学
- 吉田 茂 日本大学歯学部

(敬称略)

◆ 酸化還元電位水とは

水道水を電気分解処理することによって生成される除菌洗浄に優れ、ポテンシャルのある高い酸化還元電位を有した驚異の水です。

- 酸化還元電位 (ORP値) : 1. 100 mV以上
- 水素イオン濃度 (PH値) : 3. 0以下
- 溶存塩素 : 約10 ppm
- 溶存酸素 : 約25 ppm

この水はこれらの相乗効果により、微生物を不活性化、あるいは死滅させる効果を有し、微生物の増殖を抑制していることが明らかにされております。細菌、酵母及びカビが生息できる最適PH範囲はPH4~9迄の間であり、このPH範囲外では増殖が困難とされています。酸化還元電位についても生息できるとされている環境は-400mV~+800mVであります。又、ORP値は微生物の呼吸代謝をも支配しているとされています。特にこの水の酸化還元電位の高いことが殺菌効果に大きく寄与しているものと考えられます。

東北大学歯学部歯科保存学
奥田礼一教授 より引用

微生物の生活圏 < 酸化還元電位とPH >

